

# 「JA自己改革に関する組合員アンケート調査」結果ご報告

調査対象者：正・准組合員

調査対象期間：2018年12月～2019年4月

回答者数

147,805名

自己改革への  
評価

期待度

約94%が「期待している」

満足度

約88%が「満足」

改善度

約84%が「改善した」・「もともとよい」

総合事業の継続

約89%が総合事業を継続すべき

准組合員の事業利用の制限

約85%が制限しない方がよい

福島県の  
結果です。

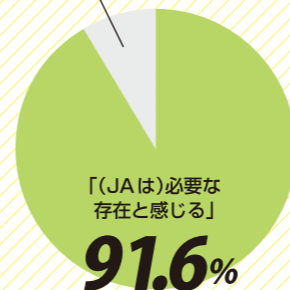


## ①自己改革の評価

	期待度	満足度	改善度
	期待している	満足	改善した・もともと良い
営農指導事業	94.3%	88.7%	83.5%
農畜産物販売事業	93.9%	87.4%	85.2%
生産資材購買事業	92.4%	86.4%	84.6%

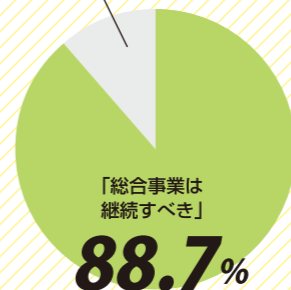
## ②JAの必要性

「必要な存在だと感じない」8.4%



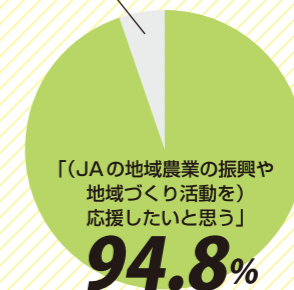
## ③総合事業の継続

「農業関連事業のみに特化すべき」11.3%



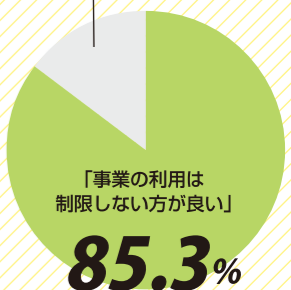
## ④農業の地域づくりの 応援

「応援したいと思わない」5.2%



## ⑤准組合員の 事業利用制限

「事業の利用は制限した方がよい」14.7%



JAグループ福島では、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを目標に自己改革に取り組んでまいりました。今回は、これらの取り組みについて組合員の皆さまからの評価・ご意見等を把握するために行った「組合員アンケート調査」のとりまとめ結果についてご報告いたします。

JAグループ福島は、組合員の皆さまの声をJA事業に反映させ、さらなるJA自己改革に取り組んでまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。アンケートにご協力いただいた組合員の皆さまありがとうございました。

JAふくしま未来 JA福島さくら JA夢みなみ JA東西しらかわ JA会津よつば



### 【ごあいさつ】

福島県内147,805名(有効回答率82.6%)の方々からJAの組織事業への取り組みに対し高い期待や満足をいただきました。このたび、台風19号災害に遭われた方々に対し、心からのお見舞いを申し上げます。災害は、私たちに山と河と海を育み、生業と命と暮らしを確かなものにするために、語らいと対話を通じた「絆」が大切だと教えてくれました。

今後とも、皆さまとともに心に触れる機微に満ちた活動を着実に前進させてまいりますので、よろしく願いいたします。

JA福島五連 会長 菅野 孝志

「全力！自己改革！」  
創造的自己改革へのさらなる挑戦！！

耕そう、大地と地域の未来。

